

本日ここに、令和4年第7回市議会定例会を招集いたしまして、補正予算案をはじめ、当面する市政の重要案件についてご審議をいただくわけであります。

各案件にわたります詳細につきましては、審議の過程で副市長並びに担当部課長からご説明申し上げることといたしまして、私は概要を申し上げ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願いする次第であります。

寒さが日一日と深まる中、師走に入り、今年も残すところ1か月を切りました。

振り返ってみますと、今年2月24日、ロシアがウクライナに軍事侵攻を開始したというニュースが世界中に衝撃をあたえました。現在も激しい攻防が続くなか、戦況はこう着し、長期化しています。このウクライナ侵攻に端を発する穀物価格や資源価格の高騰が世界経済に大きな影響を及ぼし、日本国内においては急激な円安も重なって物価高が家計を直撃し、多くの企業や事業者の経営を圧迫しています。

新型コロナウイルス感染症においては、年明け早々、「オミクロン株」の出現による、これまでにないレベルでの急激な感染拡大となり、7月から始まった「第7波」では「第6波」をさらに大きく上回る大流行となりました。オミクロン株の「BA.5」は重症化リスクが少ないということで、政府は「感染症対策と社会経済活動の両立を図る」とし、ピークが収まった9月末には、新型コロナ感染者の全数把握を簡略化し、10月からは全国旅行支援も開始、入国制限の大幅な緩和など、観光地には活気が戻り始めました。

一方で、気温が下がるにつれ全国的に新型コロナの感染者数が再び増えはじめ、すでに「第8波」入りしたとみられます。感染拡大の波は繰り返すたびに大きくなる傾向があり、季節性インフルエンザとの同時流行も懸念されています。しかし、新型コロナとの向き合い方が徐々に変化してきている中、新型コロナは今までの経験により、私たちの行動次第で感染を広げることや抑制することもできます。市民の皆様にはワクチン接種や基本的な感染防止対策の徹底を改めてお願いします。

本市においては、1月、新型コロナの影響により昨年延期した成人式と今年の成人式を2日、3日に開催し、それぞれの二十歳の門出をお祝いしました。4月1日には、完成までに7年の期間を要した新しい八幡浜港フェリーターミナルが供用を開始しました。旧フェリーターミナルの跡地については「八幡浜港みらいプロジェクト」として、新しい港や「八幡浜みなと」に必要な機能の整備、また、観光客だけでなく、市民の皆様にも喜んでもらえるエリアとなるよう、引き続き、検討を進めてまいります。

同じく16日・17日には、「第4回ダルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル日本大会」を開催しました。来年以降継続して3回の本市開催も決定し、これまでの実績と経験を踏まえ、第5回大会をさらに盛り上げていきます。

このほか、今年は5月に「やわはま国際マウンテンバイクレース2022」、6月には「第8回八幡浜市消防操法大会」、7月には「八幡浜市民スポーツフェスタ2022」を3年ぶりに開催しました。8月には新しくなった港で4年ぶりとなる「第52回八幡浜みなと花火大会」を開催するなど、行動制限の緩和により、中止や延期していたその他のイベント等も感染防止対策を徹底した上で再開することができました。今後も多くの市民の皆様喜んでいただき、以前のような「元気な八幡浜」になるよう取り組んでいきます。

また、私の大切にしている取組みでもあります「市長をかこむ会」も以前のように、7月から10月にかけて市内17地区に出向き、市政報告及び意見交換を行いました。頂戴したご意見・ご要望につきましては、今後の市政運営や予算編成の参考とさせていただきます。

イベント以外では、県下初の少子化対策の取組みとして、出産を望む夫婦の経済的負担の軽減を図るため、本年4月から不妊治療等に係る医療費の無料化を実施しました。

このほか、市役所内にDX推進室を新設し、職員のデジタルリテラシー向上のための研修、全体業務の把握を行い業務改善の徹底、また、今年度末までにDX推進計画を策定し、今後、市民が抱える課題について、デジタル技術も活用しながら解決に向け取り組んでいきます。

今年は、本市では一年を通し大きな災害はありませんでしたが、9月に発生し日本列島に上陸した台風第14号は、気象庁が緊急記者会見を開き「伊勢湾台風」級の勢力で接近し、特別警報を発表する可能性があるとの警戒を呼びかけ、四国地方に初めて線状降水帯の予測情報が発表されるなど危険な台風でありました。本市でも災害対策本部を設置し、災害情報の収集や関係機関等との連絡調整に努めました。一部地域で停電があったものの、幸いにも大きな被害はありませんでした。しかし、近年の気候変動の影響により、ゲリラ豪雨の増加や台風の強大化などが懸念される現在、実際の災害の状況や対応について、その都度、検証や見直しを行い次の災害に備えることで、本市の防災力の向上を図っていきます。

11月に入りまして、みかんの収穫が始まり、今まさに年末に向け最盛期を迎えています。

11月7日は、東京都中央卸売市場大田市場で令和4年度産温州みかんの初競りが行われました。今年の温州みかんは、色、味、香り、食味で歴代一番の出来であるとの評

価をいただき、1キロあたりの平均単価は332円で、過去最高値だった昨年より3円安かったものの、上々の滑り出しとなりました。

今年は裏年ということもあり、量的に懸念はあるものの、生産者と市場とが連携して、日本一の西宇和みかんを上手に販売し、5年連続となる100億円突破を目指してほしいと思います。

また、11月12日・13日は、「八幡浜みなと」を会場に、全国の海の幸が集う「第13回みなとオアシスSea級グルメ全国大会in八幡浜」が開催されました。四国初開催となるこの大会には、全国各地から過去最多となる27の「みなとオアシス」が参加され、購入者の投票で選ばれた今年のナンバー1グルメは、みなとオアシス苫小牧の「ホッキしゅうまい」となりました。当日は、「第9回やわたはま産業まつり」も同時開催し、来場された多くの皆様に、全国の港町ならではのご当地グルメの食べ比べや、やわたはま応援隊であるスポーツジャーナリスト二宮清純さんと新たに応援隊に就任された女優の宮本真希さんによるスペシャルトークショーなど多彩なイベントを通じて、八幡浜を十分満喫していただけたものと思います。

11月20日に執行された愛媛県知事選挙におきましては、平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興や新型コロナウイルス感染症対策など3期12年の実績が評価され、中村時広氏が4選を果たされました。中村知事には、今後も強いリーダーシップを発揮され、2060年には県の人口が約78万人にまで減少すると推計され、喫緊の課題となっている人口減少対策を始めとする様々な行政課題の解決に取り組まれますとともに、引き続き、本市に対するご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

次に、物価の上昇についてですが、先週末の12月2日、物価の高騰や円安に対応する総合経済対策の裏付けとなる国の第2次補正予算が成立しました。これにより、料金が高騰する電気、都市ガス、ガソリンなどの家計負担の軽減策が実施されるほか、本市におきましても、総合経済対策の事業として妊婦や子育て家庭に対し、経済的支援として10万円を給付する「出産・子育て応援交付金事業」に関する補正予算案を、今議会中に追加提案する予定です。

あわせて、現在、編成作業中の新年度予算においても、新型コロナウイルス感染症に加えて、エネルギー価格・物価高騰等の影響が長期化している現状を踏まえ、安全・安心な市民生活の確保と地域経済の支援を最優先課題に位置付け、全庁体制で取り組んでいきます。

それでは、今回提案の12月補正予算の主なものについて、順次ご説明します。

最初に「新型コロナウイルス感染症対策」についてであります。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響のほか、原料価格等の上昇による配合飼料等の高騰により厳しい状況にある養殖漁業者の経営の安定化を支援するため、今年度も昨年度と同様、魚類養殖共済掛金の一部について補助率と上限額を引き上げて助成を行います。

次に「安全安心なまちづくり」についてであります。

本市では、平成30年度から令和2年度にかけ経年劣化したアナログ系防災行政無線をデジタルへ整備し、さらに戸別受信機を全戸配布することで防災情報等の周知を行っています。今年10月、保内町宮内の西之河内地区にある防災行政無線屋外拡声子局に落雷があり、設備の基盤部分が破損し、現在、放送不能となっていることから、早急に修繕工事を実施します。

また、地区から要望のありました保内町川之石地区の排水ポンプ施設の自動制御化改良工事につきましても、納期の関係を考慮し来年の梅雨時期までに稼働できるよう予算を計上したほか、市が管理する市道や里道などの維持管理についても予算を追加して、修繕依頼のあった未施工箇所の解消を図ります。

次に「暮らしやすいまちづくり」についてであります。

平成13年度に神山小学校敷地内に建設された神山児童クラブは、市内8地区にある放課後児童クラブの中で一番古く、定員に対し利用者も多いため手狭な状態です。そのため、令和3年度末に閉園した旧神山幼稚園を改修し、新年度から移転することで利用者の環境整備を図ります。

また、設置後23年が経過し老朽化が進む市民スポーツセンターの温水ボイラについて、故障により施設の運営に支障をきたすことがないように更新を行うほか、障害のある方が自立した日常生活や社会生活を営むために必要な障害福祉サービス等の給付費負担金について、上半期のサービス利用者の増加に伴い増額しています。

次に「その他の取り組み」についてであります。

今や市の財政の貴重な財源である寄附金の更なる増収を図るため、今年4月から、政策推進課内の「ふるさと納税推進室」職員を兼任から専任にするなど体制を強化し、また、執務スペースについても、八幡浜庁舎5階に専用の部屋を構えて業務を行っています。今年度も昨年度の14億5千万円を上回るペースで件数と金額が推移しているため、歳入予算を15億円から17億円に2億円増額しています。

また、平成11年から3期12年、愛媛県知事を務められ、令和2年3月21日に亡くなられた本市ゆかりの加戸守行氏の功績を称え、八幡浜市名誉市民の称号を贈り、顕

彰するための同意案と関連予算を計上しています。

さらに、ウクライナ情勢や急激な円安による燃料価格の高騰を受けて電気料金が高騰する中、業務に支障をきたさないよう不足する市有施設の管理費について予算を増額するほか、人件費については人事院勧告に準じた月例給及び一時金の引上げと職員の異動による年間所要額を見通した調整を行っています。

以上が、12月補正予算案の概要であります。

この結果、

一般会計	2億	610万1千円の追加
特別会計（6会計）	7,328万	円の追加
<u>企業会計（4会計）</u>	<u>1億7,052万5千円</u>	<u>の追加</u>
合計	4億4,990万6千円	の追加を、ご提案申し上げるものです。

増額した事業の財源といたしましては、国・県支出金、市債等それぞれの事業施策に対応する額を計上し、財政調整基金の繰入れを減額し調整しています。

以上、ご説明申し上げました補正予算案等につきまして、慎重審議を賜りまして、ご賛同いただきますようお願い申し上げます。